

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第2部門第5区分  
 【発行日】平成29年4月13日(2017.4.13)

【公表番号】特表2014-528384(P2014-528384A)  
 【公表日】平成26年10月27日(2014.10.27)  
 【年通号数】公開・登録公報2014-059  
 【出願番号】特願2014-535099(P2014-535099)  
 【国際特許分類】

B 6 0 C 9/20 (2006.01)  
 B 6 0 C 9/22 (2006.01)  
 B 6 0 C 1/00 (2006.01)  
 B 6 0 C 9/18 (2006.01)

【F I】

B 6 0 C 9/20 J  
 B 6 0 C 9/22 G  
 B 6 0 C 1/00 Z  
 B 6 0 C 1/00 C  
 B 6 0 C 9/20 G  
 B 6 0 C 9/18 K

【誤訳訂正書】  
 【提出日】平成29年2月27日(2017.2.27)  
 【誤訳訂正1】  
 【訂正対象書類名】明細書  
 【訂正対象項目名】0033  
 【訂正方法】変更  
 【訂正の内容】  
 【0033】

本発明の好ましい実施形態によれば、ゴム混合物の第1の層Cは、天然ゴムを主成分とし又は大部分がシス-1,4シケンズ又は鎖を含む合成ポリイソプレンを主成分とし且つオプシオンとして少なくとも1つの他のジエンエラストマー（天然ゴム又は合成ポリイソプレンは、ブレンドの場合、用いられる他のジエンエラストマーの含有量に対して大部分の含有量で存在する）及び

a) B E T比表面積が $60\text{ m}^2/\text{g}$ を超えるカーボンブラック、カーボンブラックは、  
 i) カーボンブラックの構造指数(C O A N)が85を超える場合、 $20\sim 40\text{ phr}$ の含有量で用いられ、

ii) カーボンブラックの構造指数(C O A N)が85未満の場合、 $20\sim 60\text{ phr}$ の含有量で用いられ、

b) 又は、B E T比表面積が $60\text{ m}^2/\text{g}$ 未満のカーボンブラック、カーボンブラックは、構造指数がどのようなものであれ、 $20\sim 80\text{ phr}$ 、好ましくは $30\sim 50\text{ phr}$ の含有量で用いられ、

c) 又は、 $20\sim 80\text{ phr}$ 、好ましくは $30\sim 50\text{ phr}$ の含有量で用いられるB E T比表面積が $30\sim 260\text{ m}^2/\text{g}$ の、沈降若しくは熱分解法シリカ、アルミナ及びアルミノシリケート若しくは変形例として合成中又は合成後に改質されたカーボンブラックから成る群から選択されたSi O H及び/又はAl O H表面官能基を含むシリカ及び/又はアルミナ系の白色充填剤(ホワイトフィラー)、

d) 又は、(a)に記載されたカーボンブラック及び/又は(b)に記載されたカーボンブラック及び/又は(c)に記載された白色充填剤のブレンド(充填剤の全体的含有量は、 $20\sim 80\text{ phr}$ 、好ましくは $40\sim 60\text{ phr}$ である)かのいずれかから成る補強

用充填剤を主成分とするエラストマー混合物である。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0059

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0059】

この場合も又、有利には、本発明のこの変形実施形態によれば、ゴム混合物の第1の層Cと同様、ゴム混合物の層Bは、天然ゴムを主成分とし又は大部分がシス 1, 4 シーケンス又は鎖を含む合成ポリイソプレンを主成分とし且つオプションとして少なくとも1つの他のジエンエラストマー（天然ゴム又は合成ポリイソプレンは、ブレンドの場合、用いられる他のジエンエラストマーの含有量に対して大部分の含有量で存在する）及び

a) BET比表面積が  $60 \text{ m}^2/\text{g}$  を超えるカーボンブラック、カーボンブラックは、

i) カーボンブラックの構造指数 (COAN) が 85 を超える場合、 $20 \sim 40 \text{ phr}$  の含有量で用いられ、

ii) カーボンブラックの構造指数 (COAN) が 85 未満の場合、 $20 \sim 60 \text{ phr}$  の含有量で用いられ、

b) 又は、BET比表面積が  $60 \text{ m}^2/\text{g}$  未満のカーボンブラック、カーボンブラックは、構造指数がどのようなものであれ、 $20 \sim 80 \text{ phr}$ 、好ましくは  $30 \sim 50 \text{ phr}$  の含有量で用いられ、

c) 又は、 $20 \sim 80 \text{ phr}$ 、好ましくは  $30 \sim 50 \text{ phr}$  の含有量で用いられる BET比表面積が  $30 \sim 260 \text{ m}^2/\text{g}$  の、沈降若しくは熱分解法シリカ、アルミナ及びアルミノシリケート若しくは変形例として合成中又は合成後に改質されたカーボンブラックから成る群から選択された SiOH 及び / 又は AlOH 表面官能基を含むシリカ及び / 又はアルミナ系の白色充填剤 (ホワイトフィラー)、

d) 又は、(a) に記載されたカーボンブラック及び / 又は (b) に記載されたカーボンブラック及び / 又は (c) に記載された白色充填剤のブレンド (充填剤の全体的含有量は、 $20 \sim 80 \text{ phr}$ 、好ましくは  $40 \sim 60 \text{ phr}$  である) かのいずれかから成る補強用充填剤を主成分とするエラストマー混合物である。

【誤訳訂正 3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0068

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0068】

本発明の好ましい実施形態によれば、少なくとも1つの実働クラウン層の少なくとも1つの圧延層は、天然ゴムを主成分とし又は大部分がシス 1, 4 シーケンス又は鎖を含む合成ポリイソプレンを主成分とし且つオプションとして少なくとも1つの他のジエンエラストマー（天然ゴム又は合成ポリイソプレンは、ブレンドの場合、用いられる他のジエンエラストマーの含有量に対して大部分の含有量で存在する）及び

a) BET比表面積が  $60 \text{ m}^2/\text{g}$  を超えるカーボンブラック、カーボンブラックは、

i) カーボンブラックの構造指数 (COAN) が 85 を超える場合、 $20 \sim 40 \text{ phr}$  の含有量で用いられ、

ii) カーボンブラックの構造指数 (COAN) が 85 未満の場合、 $20 \sim 60 \text{ phr}$  の含有量で用いられ、

b) 又は、BET比表面積が  $60 \text{ m}^2/\text{g}$  未満のカーボンブラック、カーボンブラックは、構造指数がどのようなものであれ、 $20 \sim 80 \text{ phr}$ 、好ましくは  $30 \sim 50 \text{ phr}$  の含有量で用いられ、

c) 又は、 $20 \sim 80 \text{ phr}$ 、好ましくは  $30 \sim 50 \text{ phr}$  の含有量で用いられる BET比表面積が  $30 \sim 260 \text{ m}^2/\text{g}$  の、沈降若しくは熱分解法シリカ、アルミナ及びアル

ミノシリケート若しくは変形例として合成中又は合成後に改質されたカーボンブラックから成る群から選択されたSiOH及び/又はAlOH表面官能基を含むシリカ及び/又はアルミナ系の白色充填剤(ホワイトフィラー)、

d)又は、(a)に記載されたカーボンブラック及び/又は(b)に記載されたカーボンブラック及び/又は(c)に記載された白色充填剤のブレンド(充填剤の全体的含有量は、20~80phr、好ましくは40~60phrである)かのいずれかから成る補強用充填剤を主成分とするエラストマー混合物である。

【誤訳訂正4】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0038

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0038】

透明な充填剤が唯一の補強充填剤として用いられる場合、ヒステリシス及び粘着特性は、30~260m<sup>2</sup>/gのBET比表面積を有する、沈降若しくは熱分解シリカ又は変形例として沈降アルミナ又は変形例としてアルミノシリケートを用いることによって得られる。この種の充填剤の非限定的な例としては、アクゾー(Akzo)社製のsilicasKS404、デグサ社製のUltrasil VN2又はVN3及びBW3370GR、ヒューバー(Huber)社製のZeopol 8745、ローディア(Rhodia)社製のZeosil 175MP又はZeosil 1165MP、ピーピージー(PPG)社製のHI-SIL 2000等が挙げられる。

【誤訳訂正5】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0071

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0071】

透明な充填剤が唯一の補強充填剤として用いられる場合、ヒステリシス及び粘着特性は、30~260m<sup>2</sup>/gのBET比表面積を有する、沈降若しくは熱分解シリカ又は変形例として沈降アルミナ又は変形例としてアルミノシリケートを用いることによって得られる。この種の充填剤の非限定的な例としては、アクゾー(Akzo)社製のsilicasKS404、デグサ社製のUltrasil VN2又はVN3及びBW3370GR、ヒューバー(Huber)社製のZeopol 8745、ローディア(Rhodia)社製のZeosil 175MP又はZeosil 1165MP、ピーピージー(PPG)社製のHI-SIL 2000等が挙げられる。